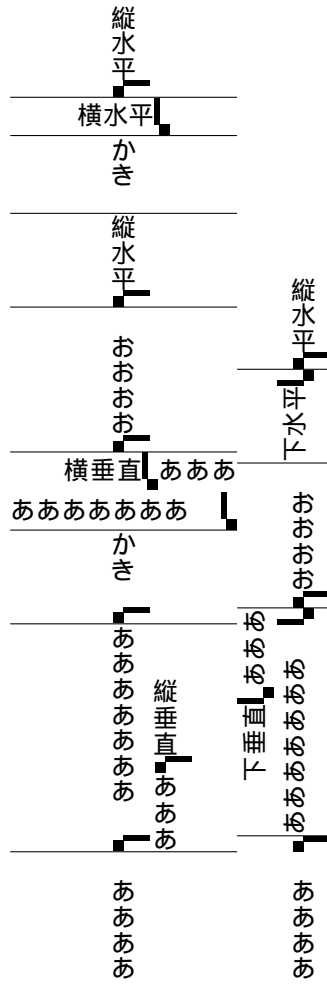
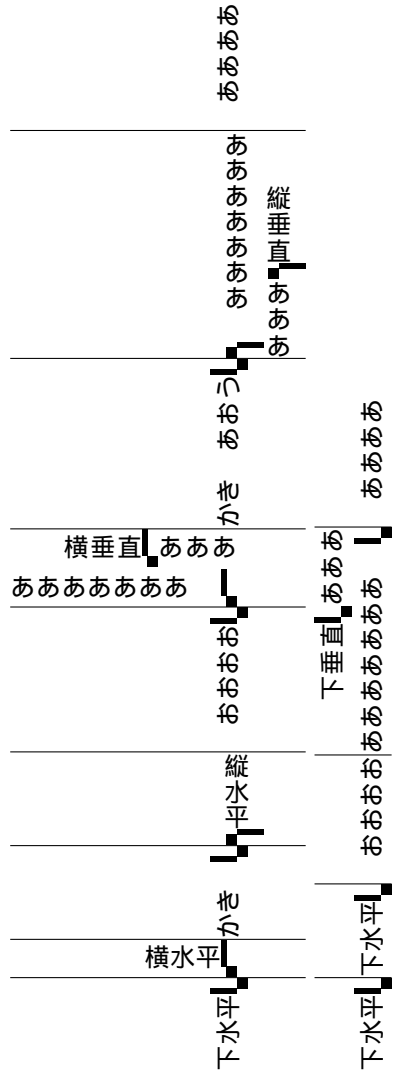


横水平	横水平	かき	縦水平	お	お	お	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	縦垂直	あ	あ	あ	あ	あ	あ
横水平	下水平	お	お	お	お	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ
あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ
あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ





横垂直 | 横水平 | かき これは、意味のないサンプルテキスト

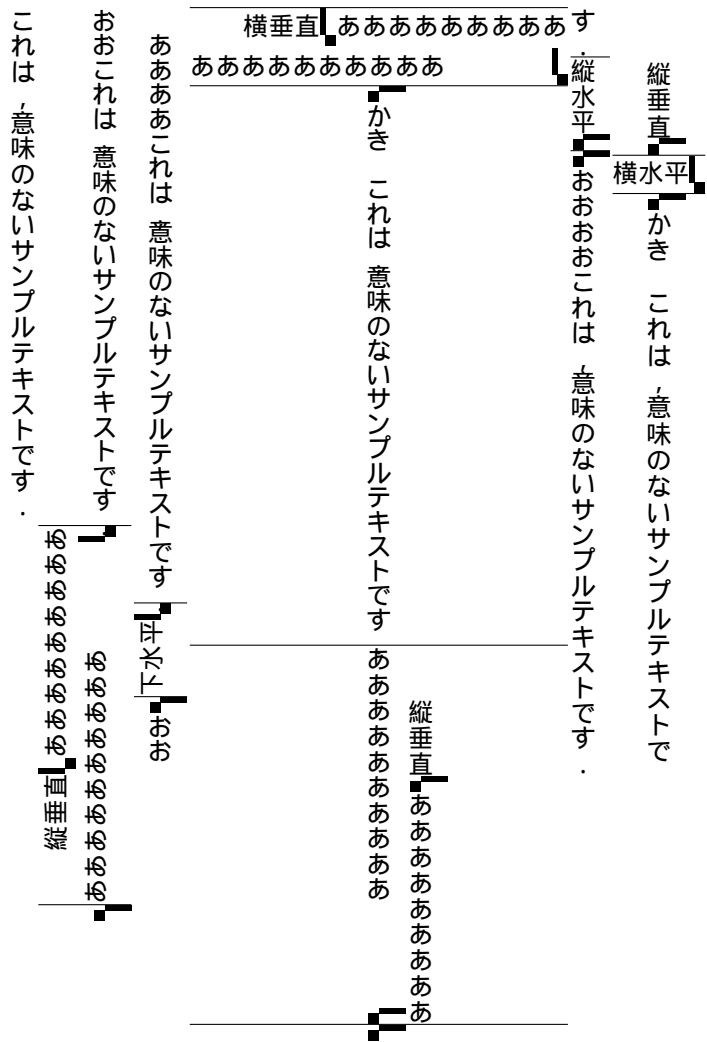
トです . | 縦水平 | 縦垂直 | おおおこれは、意味のないサンプルテキストです .

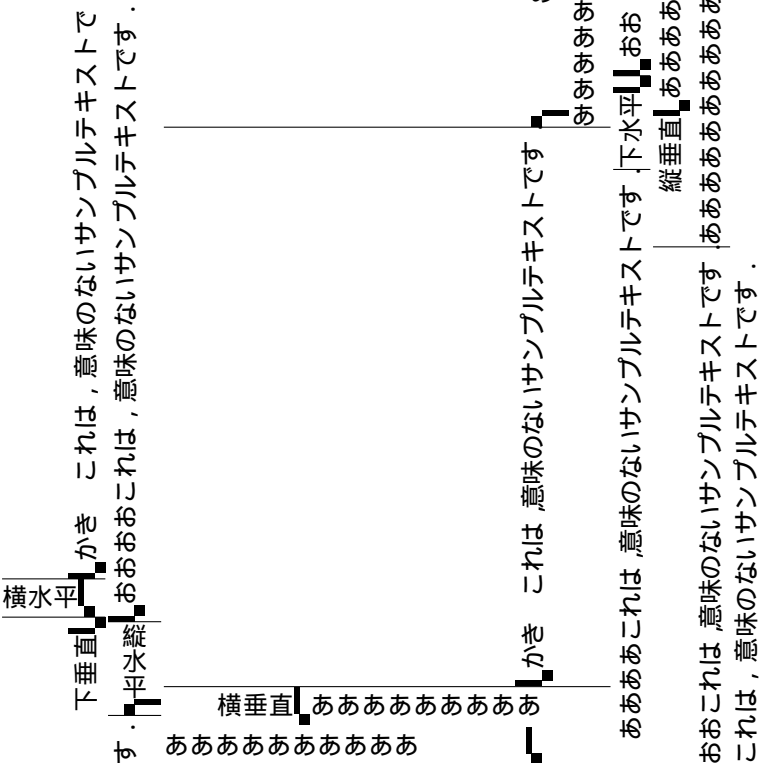
横垂直 | ああああああああ | ああああああああ | かき これは、意味のないサン

あああああああ | 縦垂直 | ああああああああ | プルテキストです . | あああこれは、意味のないサン

ルテキストです . | 横水平 | おおおこれは、意味のないサンプルテキ

ああ | 縦垂直 | ああああああああ | トです . | あ | これは、意味のないサンプルテキストです .





くわえて、ソースコードに詳細な設定を記述することで、文書のスタイル（表示形式、見栄え、たとえばレイアウトやフォントなど）を自在に調節できる。また、ソースコード上で文書内容・文書構造（章・節・段落や強調箇所など）と文書スタイルの設定との分離が可能である。そのため、同一文書内で終始一貫したスタイルを保つことができる。また、同じ文書内容でレイアウトやフォントだけを変えることができるなど、文書内容データの再利用性が高い。一度スタイル設定を決めてしまえば、あとは文書内容の記述に専念することができるという利点もある。論文などの投稿では、学術雑誌のスタイルを記述したファイル（パッケージファイル）を Web からダウンロードして利用することで、統一されたスタイルで論文 $\times$ を投稿することができ、論文の投稿者と雑誌の編集者とのやり取りを簡略化できる。Kile<sup>1</sup>、TeXShop<sup>2</sup>、TeXworks<sup>3</sup>、Easy-TeX<sup>4</sup>、WinShell<sup>5</sup>などの TeX 用エディタや、野鳥（やいばる）、YaTeX<sup>6</sup>、TeXlipse<sup>7</sup>、KaTeX（花鳥）、かつら、祝鳥（いのり）<sup>8</sup>、M's TeX Helper 2<sup>9</sup>などの TeX 用テキストエディタマクロを兼用することで、より効率的な文章作成が可能ともなる。また Maple や Mathematica などのマキコメントを作成して、TeX 形式での出力することも可能である。

縦ボックス  $\frac{H}{W}$  寸法

WD: 8.77776pt,  
HT: 16.94449pt,  
DP: 0.0pt

WD: 16.94449pt,  
HT: 6.83331pt,  
DP: 1.94444pt

WD: 100.0pt,  
HT: 16.94449pt,  
DP: 0.0pt

WD: 16.94449pt,  
HT: 10.0pt,  
DP: 1.94444pt

WD: 8.77776pt,  
HT: 10.0pt,  
DP: 50.0pt

横ボックス  $\frac{H}{W}$  寸法  
dimexpr でも使えるかな？

WD: 16.94449pt,  
HT: 6.83331pt,  
DP: 1.94444pt

WD: 8.77776pt,  
HT: 8.47224pt,  
DP: 8.47224pt

WD: 100.0pt,  
HT: 6.83331pt,  
DP: 1.94444pt

---

A あいうえお  
B ABC  
横水平 CXYZ

Aabc  
B かきくけこ  
Cxyz

---

横水平

縦  
水  
平  
丙 乙 甲  
X ABC  
Y XYZ  
Z あいうえお

丙 乙 甲  
X abc  
Y かきくけこ  
Z



横垂直

A あいうえおBABC      CXYZ

Aabc      B かきくけこCxyz |

---

甲	甲	縦
abc	あいうえお	垂
	ABC	直
乙	乙	
かきくけ	かきくけ	
こ	こ	
xyz	xyz	

PF

```

dir node> D hlist 2 (6.83331+1.94444)x50.0, dir=4
dir node> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list) dir: 4
dir node> ..D hlist 0 (50.0+0.0)x2.0, dir=33
dir node> .D glyph 256 p 1 (4.30554+1.94444)x5.55557
dir node> .D glyph 256 F 1 (6.83331+0.0)x6.5278
alter Yht> D hlist 2 (30.0+1.94444)x50.0, dir=4
alter Yht> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list) dir: 4
alter Yht> ..D hlist 0 (50.0+0.0)x2.0, dir=33
alter Yht> .D glyph 256 p 1 (4.30554+1.94444)x5.55557
alter Yht> .D glyph 256 F 1 (6.83331+0.0)x6.5278
a
alter Twd> D hlist 2 (30.0+1.94444)x50.0, dir=4
alter Twd> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list) dir: 4
alter Twd> ..D hlist 0 (25.0+25.0)x50.0, dir=35
alter Twd> ..D hlist 0 (50.0+0.0)x2.0, dir=33
alter Twd> .D glyph 256 p 1 (4.30554+1.94444)x5.55557
alter Twd> .D glyph 256 F 1 (6.83331+0.0)x6.5278
alter Yht> D hlist 2 (70.0+1.94444)x50.0, dir=4
alter Yht> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list) dir: 4
alter Yht> ..D hlist 0 (25.0+25.0)x50.0, dir=35
alter Yht> ..D hlist 0 (50.0+0.0)x2.0, dir=33
alter Yht> .D glyph 256 p 1 (4.30554+1.94444)x5.55557
alter Yht> .D glyph 256 F 1 (6.83331+0.0)x6.5278
unwrapped> D hlist 2 (70.0+1.94444)x50.0, dir=4
unwrapped> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list) dir: 4
unwrapped> ..D hlist 0 (25.0+25.0)x50.0, dir=35
unwrapped> ..D hlist 0 (50.0+0.0)x2.0, dir=33
unwrapped> .D glyph 256 p 1 (4.30554+1.94444)x5.55557
unwrapped> .D glyph 256 F 1 (6.83331+0.0)x6.5278

```

```

          21.28883pt,
          8.4675pt,
a あ 1.15466pt
pTEx bug (2011-02-24) 30.0pt
6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0
7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1
8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2 8 4 0 6 2
9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3 9 5 1 7 3
ABCDE

```